

4. 計画の実現に向けて

(1) 基本的な進め方

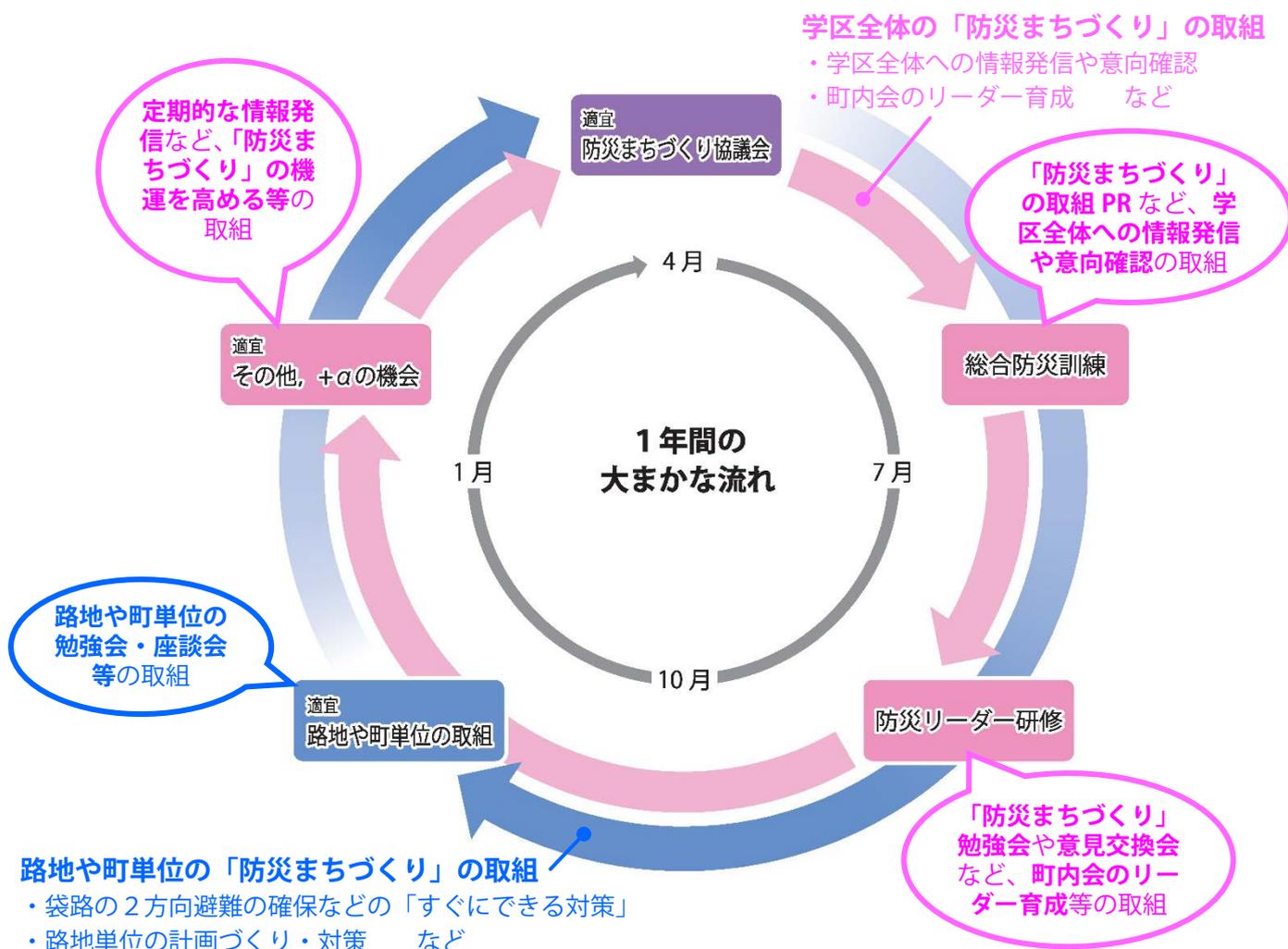
『防災まちづくり計画』の実現に向けて、『学区全体の「防災まちづくり」の取組』と『路地や町単位の「防災まちづくり」の取組』を両輪として、効果的・効率的に「防災まちづくり」を進めていきます。年度初め（または前年度の年度末）に協議会を開催し、1年間の取組スケジュールを決定します。

■ 学区全体で取り組む「防災まちづくり」の取組

- ・協議会が中心となって、市や専門家と連携しながら進めていきます。
- ・毎年、『防災まちづくり計画』に位置付けた取組メニューを基本として、「総合防災訓練」や「防災リーダー研修」などの機会に実施するメニューを検討します。

■ 路地や町単位の「防災まちづくり」の取組

- ・袋路の2方向避難の確保などの「すぐにできる対策」や建物が維持更新しにくいエリアでの「路地単位の計画づくり・対策」など、課題解決に向けた取組が専門的になるため、市や専門家が協議会と連携しながら進めていきます。
- ・協議会が住民のみなさんに参加を呼び掛け、行政や専門家などとの連携のもと、勉強会や住民のみなさんとの話し合いを重ねながら、継続的に取組を進めていきます。



(2) 学区全体で取り組む「防災まちづくり」の取組

① 総合防災訓練での取組

総合防災訓練は、町会長や防災部長、住民のみなさんなどの参加者が、「自らの身の安全は自らが守る」「自らのまちは自らが守る」ということを考える貴重な機会になります。学区全体への情報発信や意向確認等の機会として、以下の取組を検討・実施します。

総合防災訓練と連携して行う取組メニュー	
取組メニュー (選んで実施)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度：「防災まちづくり」の取組の説明、耐震セミナー 平成 27 年度：「防災まちづくり意見交換会」 平成 28 年度：耐震セミナー、「防災まちづくり」の取組 P R
	<p>★「防災まちづくり」の取組 P R</p> <p>(概要) 「防災まちづくり」の活動報告や、すぐにできる対策の成功事例等を分かりやすく P R</p> <p>(体制等) 協議会が行政と連携して実施</p> 
	<p>★「防災まちづくりマップ」を使った避難経路等の確認</p> <p>(概要) 避難訓練の際に「防災まちづくりマップ」を活用しながら、「町内会の集合場所」や避難経路の危険箇所等を確認（何度も繰り返し訓練することで効果が高まる）</p> <p>(体制等) 協議会が町内会と連携して実施</p> 
取組メニューの候補	<p>★「防災まちづくり」の意向調査</p> <p>(概要) 地域の魅力や危険なところ、学区全体で取り組む「防災まちづくり」に関するニーズなどを、簡単なアンケート調査等によって把握</p> <p>(体制等) 協議会が行政と連携して実施</p>
	<p>★各種セミナーの開催</p> <p>(概要) 地震に強い家づくりのポイントや市の助成制度等のお得情報など、一人ひとりが取り組む「防災まちづくり」の役立つ情報を学ぶ</p> <p>(体制等) 協議会が行政、各種専門家と連携して実施</p> <p>(留意点) 防災訓練の他のメニューとの時間の調整、多くの参加者にとって興味・関心が持てる内容の企画が必要</p> 
	<p>★「防災まちづくり」何でも相談</p> <p>(概要) 「防災まちづくり」に関して何でも相談できる機会を設ける</p> <p>(体制等) 協議会が行政、各種専門家と連携して実施</p> <p>(留意点) 相談に来てくれる人の呼び掛け、防災訓練の他のメニューとの時間の調整が必要（相談コーナーの設置は可能）</p> 
	<p>★路地の適正管理の呼び掛け</p> <p>(概要) 学区全体で路地の適正管理の呼び掛け</p> <p>(体制等) 協議会が行政、各種専門家と連携して実施</p> <p>(留意点) 町内会等との役割分担を踏まえて、協議会として取り組むかどうかの検討</p>

② 「防災リーダー研修」での取組

災害につよいまちをつくるためには、町内会の防災力を高めることが重要であることから、平成27年度から、町会長・町防災部長を対象とした「防災リーダー研修」を実施しています。町内会の防災リーダー育成や町内会の防災力を高める視点から、引き続き、以下の取組を検討・実施します。

「防災リーダー研修」で行う取組メニュー	
取組メニュー (選んで実施)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度：「防災まちづくり意見交換会」(町内会の集合場所等) 平成28年度：「防災まちづくり意見交換会」(町内会の取組等)
	<p>★「防災まちづくり」勉強会の開催</p> <p>(概要) 「防災まちづくり」の取組の引き継ぎ、防災リーダーとして「防災まちづくり計画」や各種制度等を学ぶ</p> <p>(体制等) 協議会が行政、各種専門家と連携して実施</p> <p>(留意点) 若い世代の人にも参加してもらえよう、開催日、開催時期、内容等を検討</p> 
	<p>★「防災まちづくり」意見交換会の開催</p> <p>(概要) 町内会の現状や課題の確認、課題を改善する「すぐにできる対策」等について意見交換</p> <p>(体制等) 協議会が行政、各種専門家と連携して実施</p> 
<p>★災害時要配慮者の把握</p> <p>(概要) 町内会長が把握している災害時要配慮者について、民生委員や社協等と連携のもと、継続して情報把握等呼び掛ける</p>	
取組メニューの候補	<p>★「防災まちづくり計画」の情報発信</p> <p>(概要) 目指すまちの将来像や基本方針、個人、町内会、協議会の役割分担など、「朱一学区防災まちづくり計画」の内容について説明し、町内会のリーダーとして理解・共有を図る</p> <p>(体制等) 協議会が説明。必要に応じて行政に協力依頼</p> <p>(留意点) 参加者が固定化しないよう配慮しながら参加を呼び掛ける。多くの人が参加したくなる内容の検討</p>
	<p>★空き家情報の把握、空き家化の予防・啓発</p> <p>(概要) 自主防災会等と連携し、空き家情報の把握や情報共有の必要性を伝え、町内会ごとの把握を呼び掛ける。市の「おしかけ講座」を活用するなど、空き家化の予防・啓発を行う</p> <p>(留意点) 「防災まちづくり」としては老朽化した危険空き家への対応を主として行う。空き家問題が深刻ではない町内会とのバランス等を検討</p>
	<p>★災害図上訓練(DIG)</p> <p>(概要) 災害時の被害をイメージしつつ、「町内会の集合場所」や避難経路等を地図上でシミュレーションし、災害が起こる前に備えるべきことを話合う(消防等との連携を検討)</p> <p>(留意点) 新たな視点から、取組の必要性を検討。防災訓練の際に行う内容と重複しないような工夫が必要</p> 

③その他、+αの機会での取組

『防災まちづくり計画』の策定に当たって取り組んできた「防災まちあるき」や、朱一小学校「防災まちづくり」学習など、災害につよいまちをつくるためには、総合防災訓練や「防災リーダー研修」の機会以外の取組も重要になります。

多くの住民のみなさんを対象にし、学区の「防災まちづくり」の機運を高める等の機会として、以下の取組を検討・実施します。

その他、+αの機会に行う取組メニュー	
取組メニュー (選んで実施)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度：「防災まちあるき」、「町内会アンケート」 平成 27 年度：朱一小学校「防災まちづくり」学習 ：「防災・耐震セミナー」 平成 28 年度：「路地や建物が密集しているエリア」の全戸を対象としたアンケート調査 ：「防災まちづくり座談会」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★「町内会の集合場所」の表示板に関するアイデア募集(平成 29 年度の取組(案))</p> <p>(概要) 町内会における「町内会の集合場所」の表示板の必要性を確認しながら、表示板のデザインや設置場所などについて、学区の行事やイベントと連携したり、アンケートなどによってアイデアを広く募集</p> <p>「防災まちづくり」の活動を継続していくための具体的な取組についても、各町内にアイデア等を確認</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★定期的な情報発信</p> <p>(概要) 「防災まちづくり」に関する助成制度や、すぐにできる対策の成功事例などを学区に情報発信</p> <p>(留意点) 学区内で定期的に配布されるものと連携したり、町内の回覧板を活用するなど、効果的な情報発信の方法を検討。PTAなど各種団体との連携も検討</p> </div>
取組メニューの候補	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>★「防災まちあるき」(まちの変化に応じた計画内容の点検)</p> <p>(概要) すぐにできる対策等の成功事例や、まちの良いところ・危険なところを確認したり、道に関する仕組みを現地で学ぶなど、住民一人ひとりの「防災まちづくり」意識を高める</p> <p>(留意点) 自分の町内ではなく、他の町内を歩いて参考にするなどのアイデアを検討。各町内会が主体的に取り組む仕組みづくり等を検討</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★「すまいの耐震大作戦」</p> <p>(概要) 姉小路通や坊城通といった「学区の防災上重要な道」など、災害時の避難を支える重要な道路などを対象に、専門家とともに昭和 56 年以前の木造住宅を 1 軒 1 軒訪問して、耐震化の大切さをお伝えし、市の助成制度の活用を呼び掛ける</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">  </div> </div>

(3) 路地や町単位の「防災まちづくり」の取組の進め方

路地や町単位の「防災まちづくり」の取組は、市や専門家などと連携のもと、これまでの取組を踏まえ、協議会が住民のみなさんに参加・協力を呼び掛け、継続的に進めていきます。

すぐにできる対策

(袋路や倒壊が心配なブロック塀、老朽化した空き家など、防災上の課題箇所)

【具体的な対策】

- ◆袋路の緊急避難扉の設置や倒壊のおそれがあるブロック塀の改善などの具体的な対策
- ◆防災上重要な道の沿道の建物の耐震化・不燃化の促進
- ◆老朽化した空き家の除却、除却した跡地等における防災ひろばの整備等

【基本的な進め方】

路地やまちの現状を知る

- ・まずは、路地の幅員や建物の状態、町並みの特徴など、対象エリアにお住まいのみなさんで現状を確認します。
- ・地域の魅力や危険なところを確認し、防災上の課題を整理します。



課題解決の方法を探り、方向性を共有する

- ・座談会等において、防災上の課題を解決する方法を整理し、方向性を共有します。



関係者に働き掛け、対策を実施する

- ・関係者を把握し、対策の必要性の働き掛け、協力の呼び掛けを行います。
- ・関係者の協力のもと、対策を実施します。

路地単位の計画づくり・対策

(建替え等が難しく、建物の維持・更新がしにくいエリア)

【具体的な対策】

- ◆建替え等ができる制度を活用した防災性を高める取組
- ◆将来の建替え等に合わせて、幅員4m以上の道路を整備していくための敷地の組み換えや統合化などによる道や区画の整備の検討 等

【基本的な進め方】

制度を学び、課題解決の方法を探る

- ・建物を建てる際のルールや、路地の雰囲気や安全を保全しながら建替え等ができる制度などの勉強会を行います。
- ・座談会やアンケート調査等によって意向の確認を行い、課題解決の方法を整理します。



想いを共有し、取組を進める

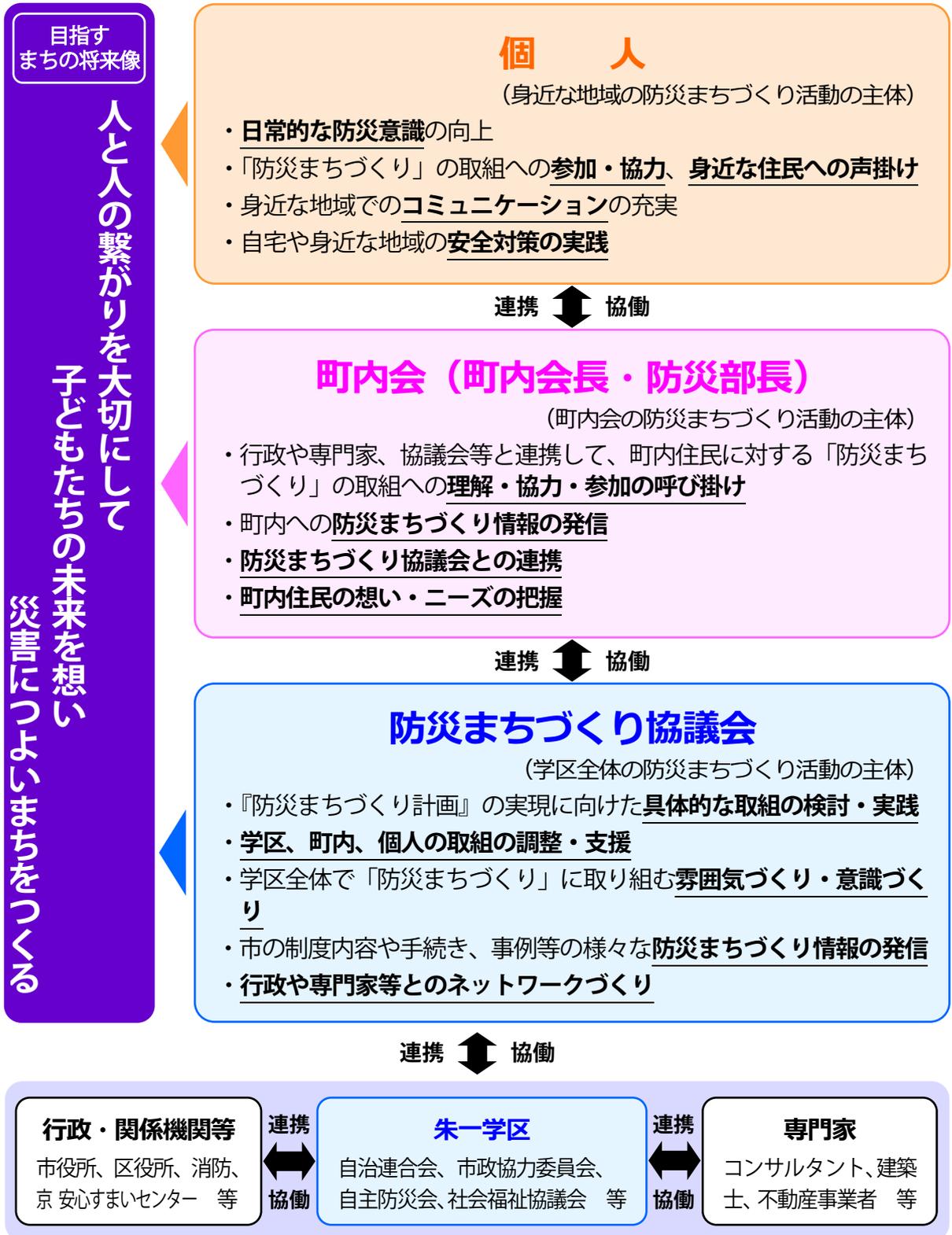
- ・話し合いを継続的に行い、路地やまちの将来への想いを共有し、取組を進めます。

安心・安全に住み続けられる 災害につよいまち

(4) 個人、町内会、協議会の役割と具体的な取組

①個人、町内会、協議会の役割

『防災まちづくり計画』の実現に向けて、個人、町内会、協議会の役割を明確にしつつ、各主体が相互に連携・協働を図りながら、「防災まちづくり」を進めます。



②個人、町内会、協議会の具体的な取組

目指すまちの将来像を実現するために、個人、町内会、防災まちづくり協議会がそれぞれの役割のもとで検討・実践する具体的な取組は、以下のとおりになります。

「みち」	個人	町内会 (町内会長・防災部長)	防災まちづくり協議会
方針 1. 災害時の避難や物資輸送を支えるふさがらない『道』づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・防災上重要となる道の沿道建物の耐震化・不燃化 ・将来の建替え時に4m以上の幅員の確保・後退部分の道路状の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災上重要となる道の沿道にある建物の耐震化・不燃化等の意識啓発 ・建替え時に後退部分を道路状に整備する取組の意識啓発 ・取組に関する回覧やチラシ配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災上重要となる道の位置づけと安全性向上の必要性の周知 ・建替え時に後退部分を道路状に整備する取組の必要性の周知
方針 2. 京都らしさを大切にしたい避難ができる『路地』づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・路地の適正管理、路地の住民への声掛け（自転車やバイク、植木鉢などの整理） ・「町内会の集合場所」までの避難経路の確認 ・路地の安全性を高める取組への協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・路地の適正管理の意識啓発、適正管理のルールづくりの呼び掛け ・路地の安全性を高める取組の実践に向けた関係者への協力呼び掛け（所有者に想いを伝える） ・取組に関する回覧やチラシ配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・路地の適正管理や路上駐車等への注意喚起・意識啓発 ・2方向避難の確保などの路地の安全性を高める取組のきっかけづくり ・路地の計画的な整備のきっかけづくり

「いえ」	個人	町内会 (町内会長・防災部長)	防災まちづくり協議会
方針 3. 倒れない・燃えにくい『家』づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に無事に家から出るための対策（自宅の中の安全性を高める） ・自宅の適切な維持管理 ・自宅の耐震化・不燃化（耐震改修や防火改修、感震ブレーカーの設置など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅の安全対策、耐震化・不燃化の意識啓発 ・取組に関する回覧やチラシ配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災リーダー研修や定期的な情報発信の取組を通じた、自宅の安全対策、耐震化・不燃化の呼び掛け
方針 4. 地域全体で『空き家』対策に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・所有する空き家の適正管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の空き家の把握、所有者の連絡先の把握 ・取組に関する回覧やチラシ配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会と連携した老朽化した危険な空き家情報の把握 ・老朽化した空き家の除却や跡地の防災ひろばへの活用等の協力呼び掛け

「まち」	個人	町内会 (町内会長・防災部長)	防災まちづくり協議会
<p>方針5. 災害時の避難を支え、火災時の燃え広がりを抑える『空間』づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・所有する駐車場や空き地等の災害時の利用への協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場や空き地等の災害時の利用への協力呼び掛け ・公園、駐車場や空き地を利用する町内会同士の連携・調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・「避難所」や「地域の集合場所」の防災機能の維持・向上 ・防災ひろばの整備など災害時に役立つ空間づくりのきっかけづくり ・路地や町単位の「防災まちづくり」のきっかけづくり
<p>方針6. 防災意識を高め、身近な町内の『防災力』を高める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、防災に対する関心を持ち、知識を身に付ける、情報を収集する ・ご近所で防災に関することを話合う、日常的にコミュニケーションをとる ・総合防災訓練への参加 ・自宅から「町内会の集合場所」、「避難所」への避難経路を事前に確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・地蔵盆等の機会を活用した、町内会で「防災まちづくり」について話し合う機会づくり ・「町内会の集合場所」や「地域の集合場所」、避難の仕方の確認・周知徹底 ・消火器や消火バケツの配置、使い方の訓練 ・行政や専門家等と連携した防災まちあるきなどによる町内の危険箇所等の確認 ・社協や民生等と連携した高齢者（特に一人住まい）、マンション住民の把握・共有 ・防災リーダー（防災部長等）の防災に関する取組や情報の引き継ぎ、町内会の引き継ぎのルールづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の防災意識を高める取組の実践 ・「防災まちづくり」の活動の情報発信 ・「町内会の集合場所」が目に見えて分かる掲示板等の設置 ・継続的な「防災リーダー研修」の実施 ・防災に関する取組や情報を引き継ぐ体制づくり、きっかけづくり